

特定健診・医療機関未受診の方へ 受診促進のための通知を送付します

—対象は国民健康保険に加入している40歳～74歳までの方—

平成27年度に策定したデータヘルス計画に基づき、被保険者の健康の保持増進を図るため、国民健康保険に加入されている40歳から74歳までの方で、次の項目に該当する方へ特定健診や医療機関への受診を勧める通知を、10月中旬頃に送付します。

通知の対象者		通知内容
特定健診未受診者	生活習慣病治療のため通院をしているが、特定健診を受診していない方	特定健診の受診勧奨
生活習慣病治療中断者	平成27年度中に生活習慣病治療のため定期的な通院をしていたが、途中から通院を中断していると思われる方	医療機関への受診勧奨
健診異常値放置者	特定健診の結果に異常値があった方で、生活習慣病治療のための通院をしていないと思われる方	



特定健診未受診者通知
(見本)

※平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）に特定健診を受診していない方や、生活習慣病治療のための通院が確認できない方を対象としています。

～ご自身の健康状態をチェックするためにも、年に一度は特定健診を受けましょう～

■問い合わせ■ 医療保険課 医療保険グループ ☎52-1111（内線163）

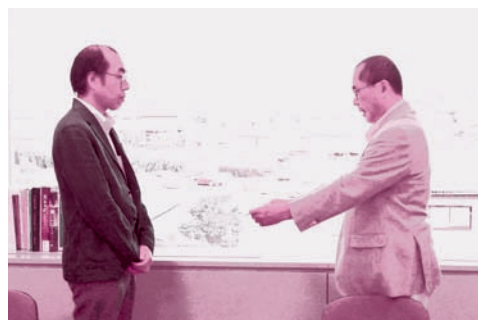
常陸大宮市史編さんだより

Vol.1

○市史編さん、はじまります

平成28年8月8日、市役所で第1回常陸大宮市史編さん委員会が開催され、三次市長から委嘱状及び任命状が交付されました。ここに、市史編さん事業は本格的にスタートしました。

合併10周年を契機に動き出したこの事業は、市内全地域をあらゆる角度から再発見・再評価しようとするもので、ふるさとへの愛着と誇りを育み、市の一体化を推進する“新たな「まちづくり」”の基礎となることを目指します。



▲委嘱状を渡す三次市長（右）と高橋委員長（左）



○市史編さん委員会と6つの部会

市史を作るにあたって、新たに設置された編さん委員会は、①考古、②古代・中世史、③近世史、④近現代史、⑤民俗、⑥自然の6部会で構成され、茨城大学の高橋修教授（古代・中世史）を委員長とする専門委員6人が各部会長として就任しました。

今後、各部会を中心に調査が進められますが、詳細な調査を実施していくためには、市民の皆さんのお力添えがなくてはなりません。よりよい「常陸大宮市史」を作っていくために、ご協力をお願いします。

■問い合わせ■ 歴史文化振興室 ☎52-1450